平成 27 年 12 月 16 日

各　　位

会 社 名　　ニッコー株式会社
代表者名　　取締役会長兼代表取締役社長　三 谷　　充
（コード番号 ５３４３　名証第２部）
問合せ先　　執行役員サービス本部長　　布 川　一 哉
（TEL. ０７６－２７６－２１２１）

希望退職者募集に伴う特別損失の計上および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日付「希望退職者募集の結果に関するお知らせ」のとおり、希望退職者募集の結果が確定したことから、当第３四半期連結会計期間において特別損失を計上することとなりました。

また、最近の業績動向等を踏まえて、平成 27 年５月 11 日に公表した平成 28 年３月期（平成 27 年４月１日～平成 28 年３月 31 日）の通期連結業績予想を修正しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．特別損失の計上およびその内容

・事業構造改善費用　　約 140 百万円

希望退職者募集の結果に伴い、退職者への特別加算金や再就職支援費用等により発生したものです。

なお、今回の希望退職者募集の実施による来期以降の業績に与える影響額は、売上原価が年間約２億 32 百万円、販売費及び一般管理費が年間約２億 20 百万円削減されると見込んでおります。

２．平成 28 年３月期通期連結業績予想値の修正（平成 27 年４月１日～平成 28 年３月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（Ａ）	16,000	50	50	0	0 円 00 銭
今回発表実績（Ｂ）	13,650	△505	△460	△660	△28 円 30 銭
増減額（Ｂ－Ａ）	△2,350	△555	△510	△660	
増減率（％）	△14.7	―	―	―	
（ご参考）前期実績（平成27年３月期）	15,591	△200	△61	△218	△10 円 37 銭

３．修正の理由

機能性セラミック商品事業における増収増益があった一方で、住設環境機器事業については、小型浄化槽における価格競争の激化などによる受注の減少等、大型浄化槽における売上案件の減少等を主な要因として、当初見込んでいた売上を確保できず、生産工程の内製化等によって製造費用圧縮に努めたものの、減収に伴う利益減少を補うには至らず、収益が悪化する見通しとなりました。

また、陶磁器事業については、国内販売における利益率の低い案件を整理した影響を補うには至らず、全体として不調であったことを主な要因として、当初見込んでいた売上を確保できず、生産減少に伴う固定費率の上昇が利益圧迫要因となり、収益が悪化する見通しとなりました。

こうした要因と「１．特別損失の計上およびその内容」に記載した特別損失の計上を踏まえて、平成28年３月期通期連結業績予想が前回予想を下回る見込みとなったため、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の業績予想値を修正いたしました。

（注）上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以　上